



かんごぶ〜だより

11月号

10月号は、当院の看護提供方式の紹介です。
当院は、2019年からセル看護提供方式®を導入しています。

看護提供方式は、自分たちのやりたい看護を実現するためのツールです。看護師がベッドサイドに居続けながら、患者のニーズを先読みし、患者さんにとって「かかってよかった」と思って頂けるケアの提供を行うための仕組みです。患者さんから「かかってよかった」と評価して頂けることが看護本来の喜びであり、チームで常に高見を目指しながら、「かかってよかった」から「働いてよかった」の実現に向け、3本の矢を用いた熊本地域医療センター「セル看護提供方式®」を本物にしていきます。

担当：岩橋師長



「第3回 セル看護推進研究会」2021年9月16日参加



“病院理念の具現化に向けて「セル看護提供方式®」の導入”を発表

今年度“セル看護提供方式®を本物にする(熊本地域医療センター版の完成)”を目標に①動線②記録③配置の無駄取りを行っています。



オンライン研修の強い味方
リングライトも大活躍！

今月の院内認定制度



- ・ 実地指導者
- ・ がん化学療法看護
- ・ 内視鏡看護
- ・ 認知症看護
- ・ 感染管理

内視鏡看護院内認定

内視鏡看護師は、34名誕生し病棟や外来勤務で活躍しています。24時間365日、内視鏡的検査や治療を必要とする患者さんに即応できるポリバレンタースとして活動しています。これは、“必要とされている人に必要なケアを提供する”という当院の看護部理念の具現化に繋がっています。フォローアップ研修も行われ、スキルの維持も組織的に行っています。医師や患者さんから「あなたでよかった」という言葉が聞かれています。認定期間は、2年です。更新条件は、「年3回内視鏡看護の実務を行うこと」です。本年度は、15名がチャレンジ中です。



感染対策もバッチリ!

ポリバレンタースとは？
いつでも どこでも 組織のリソースになれる看護師

内容	ねらい	時間
①講義 (ステップアップ支援研修 G-1: 内視鏡を受ける患者の看護 基礎編)	内視鏡看護の基礎がわかる GF・CF・ERCPの前処置が理解できる 安全に内視鏡検査・治療を行うために問診の注意点がわかる	1時間
②実務研修 (ステップアップ支援研修 G-2: 内視鏡を受ける患者の看護 実践編) 問診・GF介助2日間 CF・ERCPの介助3日間	問診をとり、検査前・中・後の看護を安全に提供できる	35時間 (5日間)
③フォローアップ研修(実務研修2ヶ月以内)	スキルを維持する	7時間

編集後記：
内視鏡看護院内認定研修中の現場に、お邪魔しました。学ぶ側・伝える側共に輝いていました。スキルを学び・スキルを使い・スキルを伝える、看護部教育理念の具現化だなあ〜と感じました。

